

京都検定 公開テーマよもやま話

第22回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第25回京都検定3級公開テーマ「京の年末年始」

ガイド泣かせ？ 京都の年末年始



山村純也
株式会社らくたが
代表取締役

普段、観光ガイドをしていると、京都の年末年始はとにかく行事が多く、観光客をご案内するにも非常に悩ましいですね。時系列で挙げてみると、12月13日には花街の一年を区切る「事始め」、21日は東寺(南区)の「終い弘法」、25日は北野天満宮(上京区)の「終い天神」、27日は知恩院(東山区)の「試し撞き」、31日は八坂神社(東山区)の「をけら詣り」があります。

年が明けると、1月1日〜3日に六波羅蜜寺(東山区)で振る

舞われる「皇服茶」、3日に実施される八坂神社の「かるた始め式」、4日には下鴨神社(左京区)の「蹴鞠初め」、8日〜12日に恵美須神社(東山区)で実施される「十日ゑびす大祭」等、魅力的ゆえにとこもも人でごった返している、案内するにもハードルが高くなります。

また旅に欠かせない食の楽しみとして、師走前半に千本釈迦堂(上京区)等で振る舞われる「大根焚き」は安定した人気を誇り、12月23日に矢田寺(中京区)で実施される「かぼちゃ供養」にも、近年は長蛇の列ができてます。さらに定番ですが、年越しの「鱈蕎麦」も観光客に大変人気です。

来年は巳年のため、ガイド目線では、蛇が守護を担う弁財天ゆかりの場所に注目しています。

中でも筆頭は「島の弁天さん」と親しまれている長建寺(伏見区)でしょう。年明けとともに、12年に一度の本尊弁財天のご開帳が行われるので注目です。ほかに、都七福神の弁財天の札所となっている六波羅蜜寺、拜殿に蛇の絵(絵馬)が数多く奉納されている妙音弁財天(上京区)、京都御苑内にある西園寺家の鎮守社であった「御所の弁天さん」と称される白雲神社(上京区)、さらに三室戸寺(宇治市)の境内に安置された人頭蛇体の宇賀神にも人が集まりそうです。

蛇は「金運を呼ぶ」というご利益もあり、物価高騰の昨今、まさにびつたりの参拝スポットになりそうです。

※「京都観光文化検定試験®」、「京都検定®」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。



妙音弁財天の蛇の絵(絵馬)



表彰式での集合写真

第24回京都検定 G-1グランプリ 表彰式を 実施しました!

第24回京都検定(7月14日(日)施行)に5名以上で3級を団体受験されたグループを対象に、上位8位までを表彰するG-1グランプリの表彰式を9月19日(木)に執り行いました。今回は32団体、454名がエントリー。表彰式では、京都検定検定委員会・納屋委員長(株式会社淡文社・代表取締役会長)から表彰盾・表彰状が授与されました。

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。第25回(12月8日施行)3級「京の年末年始」2級「紫式部と京都」1級「法然上人」



京都検定

◀ 京都検定の詳細はこちら